

質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 狩勝第二トンネル東工事

質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	「客土掘削 土砂A1」と「捨土掘削 土砂A1」は数量が同じですが、同じもの（本線掘削土）を示しているのでしょうか。	捨土掘削 土砂A1にて新得地区ずり仮置き場に仮置きした土を客土掘削 土砂A1にて盛土することを想定しております。 なお、数量については誤りがありましたので、後日訂正致します。
2	金抜設計書：番号30(型枠 T)の数量について 閲覧(貸与)資料01_狩勝第二トンネル詳細設計 REPORT11 (P29-2) トンネル型わく数量集計表(1)(アーチ部)から算出していると思われま す。 しかし、CI-a(H)-1-BおよびDI-a(H)-2-B、DIIIa(H)-2-B、DIIIa(H)-3-Bの①型わく周長は覆工防水工周長が記載されているのではないのでしょうか。 上記各断面パターンの型枠周長はCI-a(H)-1-B、DI-a(H)-2-Bは20.805mおよびDIIIa(H)-2-B、DIIIa(H)-3-Bは20.762mと思われま すがご教示願います。	CI-a(H)-1-B、DI-a(H)-2-Bの型わく周長は20.805m、DIIIa(H)-2-B、DIIIa(H)-3-Bの型枠周長は20.762mが正となり、型わくTは26,250.5m ² が正となります。
3	金抜設計書：番号31(型枠 T(L))の数量について 閲覧(貸与)資料01_狩勝第二トンネル詳細設計 REPORT11 (P29-3) トンネル型わく数量集計表(2)(アーチ部)から算出していると思われま す。 しかし、CI-B-L(H)およびCII-B-L(H)の①型わく周長は覆工防水工周長が記載されているのではないのでしょうか。 上記各断面パターン の型枠周長は両断面パターンとも23.119mと思われま すがご教示願います。	CI-B-L(H)およびCII-B-L(H)の型わく周長は、23.119mが正となり、型わくT(L)は1,433.4m ² が正となります。

番号	質問事項	回答
4	<p>金抜設計書：番号33(鉄筋 A)の数量について 数量明細表(3/10)鉄筋Aのうち坑門工の数量が24.547tと記載されています。 しかし、設計図(トンネル工)38/88・41/88・44/88に記載されている鉄筋質量表を合算すると、D13：1.094t、D16～D25：20.575t、D29～D32：20.094t、合計：41.763tとなります。 どちらの数量が正しいのかご教示願います。</p>	<p>令和6年9月10日掲載済みの質問書に対する回答をご確認ください。</p>
5	<p>トンネル掘削 ⑤【参考図】4/17加背割図(2)の「CⅡ-b-2-B」インバート掘削の数量は狩勝第二トンネル詳細設計より10.758m³/m。 「DⅠ-a-2-B」全断面掘削及びインバート掘削の数量は狩勝第二トンネル詳細設計より全断面掘削(設計)77.485m³/m、(支払)80.902m³/m、インバート掘削11.132m³/mとなっています。 設計値と違いがありますので、ご教示お願い致します。</p>	<p>参考図の加背割図(2)「CⅡ-b(H)-2-B、DⅠ-a(H)-2-B」に誤りがありました。 狩勝第二トンネル詳細設計の数値が正となります。</p>
6	<p>数量明細表4, 5/10より「CⅠ-K-S-1」170.1m³、「CⅡ-K-S-1」166.6m³とありますが、④【設計図】32/88より掘削延長が8.980m、⑤【参考図】7/17より設計数量18.159m³/mと2件とも同じ数量です。 設計値の違いはどこにあるのでしょうか。</p>	<p>「CⅡ-K-S1」の掘削数量は170.1m³が正となります。</p>
7	<p>数量明細表4, 5/10のトンネル掘削の避難連絡坑(番号45～50)の数量の合計が623.5m³となります。 ずり処理工A1(番号68)の避難連絡坑の数量が598.8m³と違いがあります。 数量の差について、ご教示お願い致します。</p>	<p>令和6年9月10日掲載済みの質問書に対する回答をご確認ください。</p>
8	<p>鉄筋 数量明細表3/11鉄筋Aの坑門工24.547tとありますが、④【設計図】38, 41, 44/88の鉄筋質量表より合計すると41.763tとなりますが、数量の差について、ご教示お願い致します。</p>	<p>令和6年9月10日掲載済みの質問書に対する回答をご確認ください。</p>
9	<p>注入式長尺鋼管先受工 数量明細表9/10より注入式長尺鋼管先受工が189本とありますが、④【設計図】29/88より8スパンの27本打設で216本ではないのでしょうか。</p>	<p>令和6年9月10日掲載済みの質問書に対する回答をご確認ください。</p>

番号	質問事項	回答
10	金抜設計書：番号68(ずり処理工 A1)および番号69(ずり処理工 A2)の数量について、合算すると118,639m ³ となります。 しかし、番号36(トンネル掘削 CI-a-1-B)から番号50(トンネル掘削 CII-K-S2)の数量を合算すると119,153m ³ となり差異があります。 正しい、ずり処理工数量およびトンネル掘削数量をご教示願います。	令和6年9月10日掲載済みの質問書に対する回答をご確認ください。